

磐田市公共下水道事業（豊岡処理区）

包括的管理等事業

実施検討（案）説明会

令和8年10月16日（金）

磐田市環境水道部上下水道工事課

0. 説明会の流れ

1. 本説明会の趣旨
2. 水の官民連携（ウォーターPPP）の概要
3. 本市上下水道事業の課題
4. アンケート調査の概要
5. 本市が検討する事業方式
6. 本事業の対象施設
7. 業務範囲
8. 事業予定価格（10年間）
9. 業務執行体制のイメージ
10. 今後のスケジュールについて



1. 本説明会の趣旨

- 本説明会は、事業の目的・範囲・スケジュールを示した実施検討（案）の主な内容を説明し、民間事業者の方に事業内容や求められる役割を事前に把握していただくことを目的としています。
- 実施検討（案）を公開し、民間事業者の方から幅広いご意見を頂き、事業方式の最適化を行います。

※本説明会の内容は、すべて現時点の内容です。今後検討によって変更する可能性がありますのでご了承ください。

※実施検討（案）に対するご意見・ご質問を、令和8年10月30日（金）正午までの期間で受け付けています。

2. 水の官民連携（ウォーターPPP）の概要



① 長期契約

契約期間は、原則10年とすること。

② 性能発注

性能発注を原則とすること。

ただし、管路については段階的に移行していくことも可能。

③ 維持管理と更新の一体マネジメント

維持管理と更新を一体的に実施する「更新実施型」と、更新計画案の策定やコンストラクションマネジメントにより地方公共団体の更新を支援する「更新支援型」を基本とする。

④ プロフィットシェア

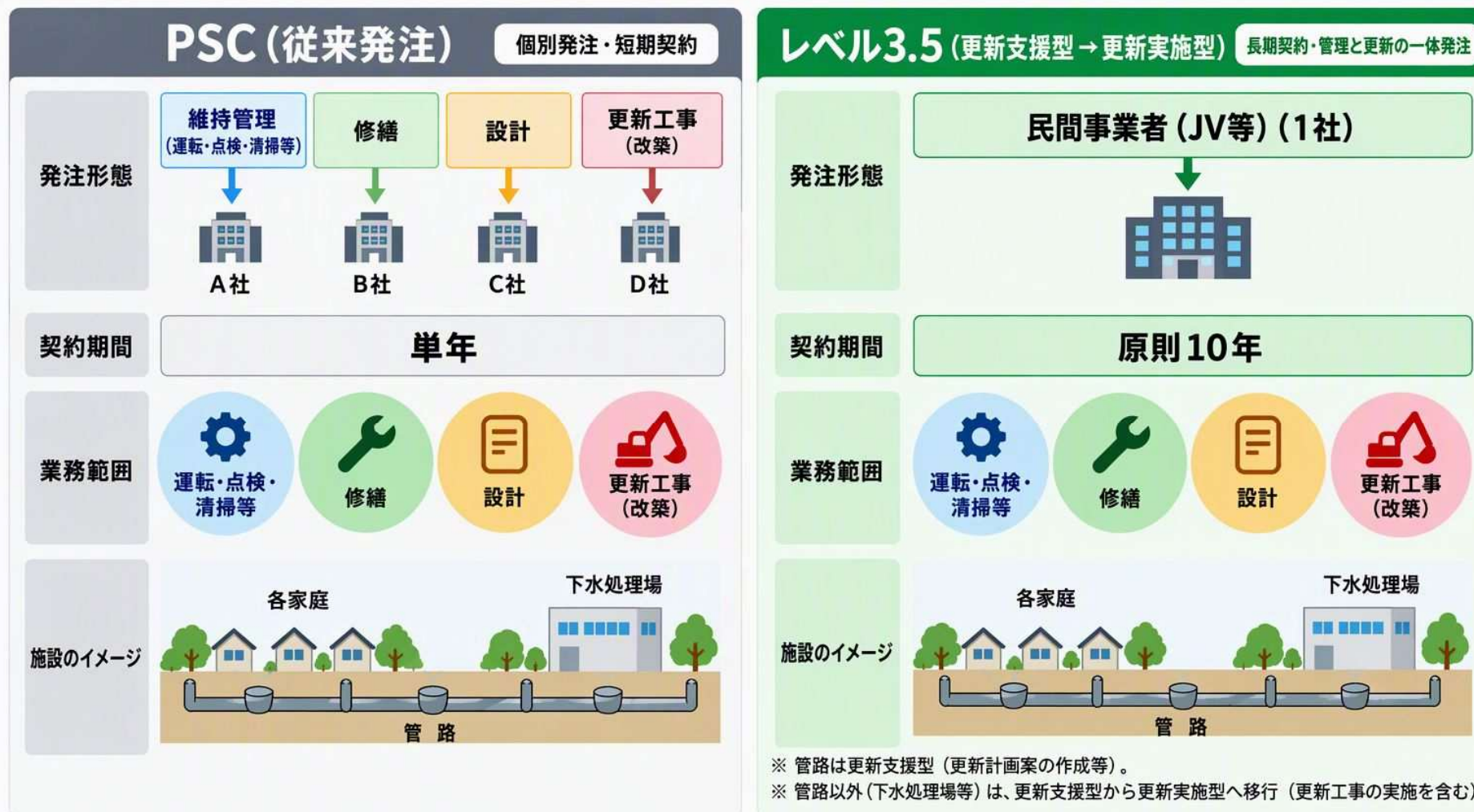
ライフサイクルコスト縮減の提案を促進するため、プロフィットシェアの仕組みを導入すること。

3. 本市下水道事業の課題

視点	下水道事業の課題と官民連携手法による対応策	
ヒト	課題①	✓ 今後の更新需要の増加への対応
	対応①	➡ 発注業務の包括的委託・複数年委託による効率化
	課題②	✓ 技術職員の減少等による技術継承や人材育成への対応
	対応②	➡ 民間企業の技術力や創意工夫による体制強化
モノ	課題	✓ 施設老朽化と、人口減少による収益低下の見通しを踏まえた、改築計画の最適化、効率的な点検・調査実施による既存施設の長寿命化
	対応	➡ 計画、維持管理等の一体発注・複数年委託により、民間企業の技術提案・創意工夫を促進し、維持管理と更新の効率化
カネ	課題	✓ 物価や人件費の高騰による事業費増加への対応
	対応	➡ 業務の包括的かつ複数年委託によるコスト縮減と、予防保全型による維持管理の促進

3. 本市下水道事業の課題

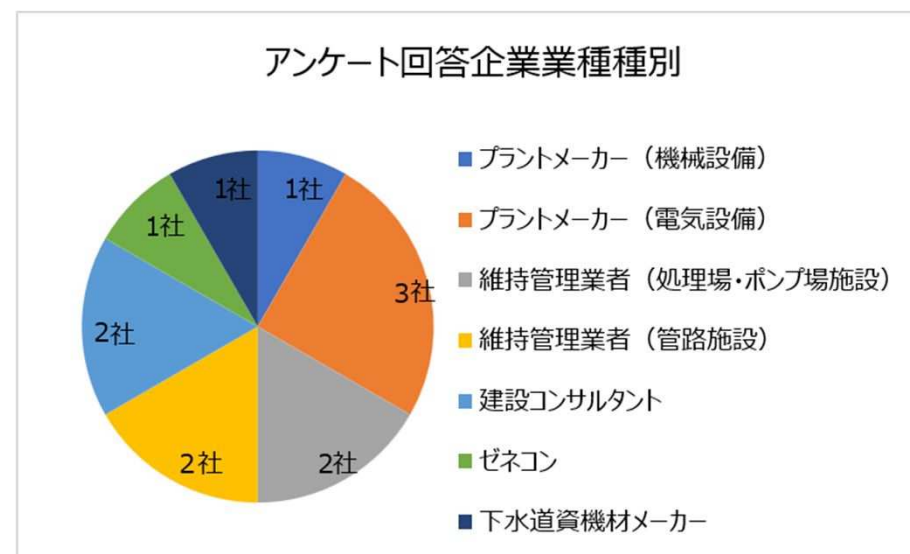
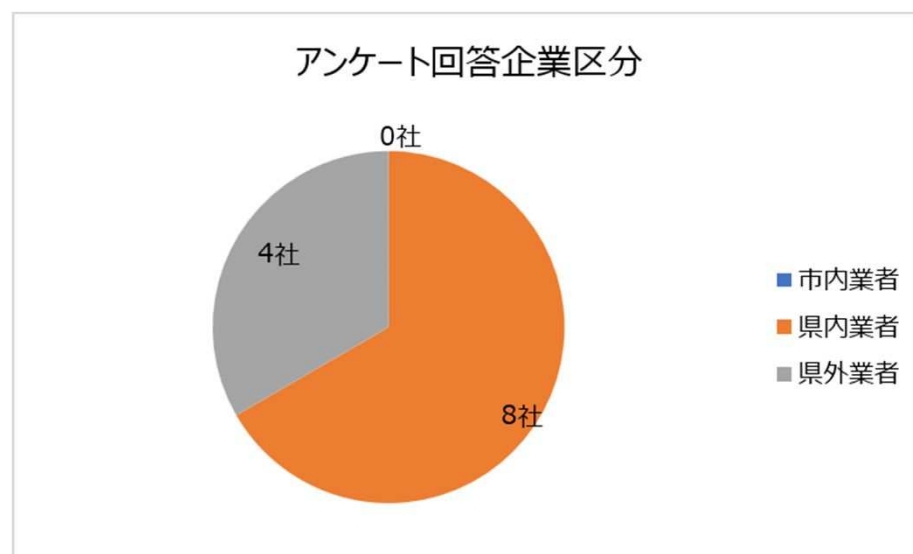
水の官民連携（ウォーターPPP）の導入による違い（イメージ）



官民連携の導入により、本市下水道事業の課題に対応する

4. アンケート調査の概要

- 令和7年度の「磐田市ウォーターPPP導入可能性基礎調査業務委託」において、2回のアンケート調査を実施しました。
- 第1回目が選択式中心のアンケート、第2回目が記述式のアンケートを実施しました。
- 第1回目、第2回目とも12社からの回答がありました。



4. 1. 第2回アンケート調査の概要

1. 事業スキームについて

質問内容	- 本市は、施設の老朽化への対応として修繕や改築を効果的・効率的に進める必要があると考えており、別紙に記載している管理・更新一体マネジメント方式にて検討を進めています。 「更新実施型」のウォーターPPPへの参画が可能となる条件について、ご意見をお聞かせください。
事業者の回答	- 事業範囲と事業方針の明確化。 - 物価変動への適切な対応を含め適正な価格の算出。 - 災害対応や老朽化による故障リスクのリスク分担の整理、リスク分担の明確化。
アンケートを踏まえた結果	- 業務範囲、リスク分担（概略案）については、今回公告する実施検討（案）に記載しております。 - リスク分担については、要求水準書（素案）、物価変動への対応については、事業契約書（案）において公開する予定です。

4. 1. 第2回アンケート調査の概要

2. 対象区域について

質問内容	本市は、公共下水道事業の一部地域（豊岡処理区）を対象にウォーターPPP事業の実施を検討しています。 この考えについてご意見をお聞かせ下さい。
事業者の回答	- 豊岡処理区のみでスタートする考え方は、おおむね妥当である。 - 豊岡処理区単独では事業規模が小さく、採算性やスケールメリットの確保が課題となる。
アンケートを踏まえた結果	豊岡処理区を対象としてウォーターPPPの検討を進めることとしました。

4. 1. 第2回アンケート調査の概要

3. プロフィットシェアについて

質問内容	・ 本事業はプロフィットシェアの導入を検討しています。 ・ プロフィットシェアにおける官民割合の考え方や、金銭の分配以外でのプロフィットの活用方法などについて、ご意見やご提案がありましたらお聞かせください。
事業者の回答	・ 官民の配分割合は、民間の創意工夫やリスク負担に応じて設定する。 ・ 対象経費、算定基準、評価期間および配分ルールを事前に明確化する。
アンケートを踏まえた結果	・ 実施検討（案）に現時点におけるプロフィットシェアの考え方を示しました。 ・ 詳細について、対象業務、算定方法、官民の配分方法等は、要求水準書（素案）に示す予定です。

4. 1. 第2回アンケート調査の概要

4. 災害対応について

質問内容	・ 災害や事故等が発生した場合、事業者は市が定める計画やマニュアルに基づいて対応することを想定しています。 ・ 本事業は、【体制の整備・事前対策の実施・事業者によるBCP（事業継続計画）の策定・訓練の実施】を含めることを検討しています。 ・ なお、被害状況の調査や復旧工事については、災害の規模や状況により不確定要素が多いため、別途協定を締結することを検討しています。 ・ 災害や事故対応に関するご意見をお聞かせください。
事業者の回答	・ 官民の役割分担、責任範囲および費用負担を明確化する。 ・ BCPや緊急対応マニュアルを整備し、訓練や資機材の確保により即応体制を構築する。 ・ 被害状況調査や復旧工事は、別途協定により対応条件を定める。
アンケートを踏まえた結果	・ 日常おこりうる、台風・管路閉塞の対応を含める予定です。負担限度を超える不可抗力については、管理者の負担としています。 ・ 災害・事故によるリスク分担については、実施検討（案）に記載しております。

4. 1. 第2回アンケート調査の概要

5. コンソーシアムについて

質問内容	・ コンソーシアム（JVまたはSPC）の組成における課題や要望がありましたら、ご意見をお聞かせください。
事業者の回答	・ 事業規模や負担を踏まえ、SPCよりもJV方式を希望する意見が多い。 ・ 事業範囲、参加資格、役割分担、責任範囲および事業スケジュールの早期明確化が必要である。 ・ 地元企業が構成員または協力企業として参画しやすい、柔軟な条件設定が求められる。
アンケートを踏まえた結果	・ 実施検討（案）において、JV、SPCは問わないこととしています。 ・ 事業検討案に、事業範囲を示しております。責任範囲については、リスク分担表に示しております。 ・ 入札参加資格は、従来の入札に準じ、県内に営業所を有するものなど、地元企業が参画しやすい条件設定としています。

5. 本市が検討する事業方式

□事業名称 磐田市公共下水道事業（豊岡処理区）包括的管理等事業

□事業期間 事業開始予定日 令和11年4月1日
事業終了予定日 令和21年3月31日（10年間）

□採用予定スキーム

施設	採用予定スキーム
管路施設	更新支援型（レベル3.5）
処理場施設	更新実施型（レベル3.5）※
マンホールポンプ	更新実施型（レベル3.5）※

※事業開始後2年間～3年間は「更新支援型」でストックマネジメント修繕・改築計画を策定し、それ以降「更新実施型」への移行を考えている。

6. 本事業の対象施設

【管路施設】

対象施設	数量
污水管きよ	68,914.86km
マンホール	1,791箇所
マンホール蓋	1,791箇所
取付管	2,481箇所
公共枿	2,481箇所
マンホールポンプ	15箇所



6. 本事業の対象施設

【処理場施設】

名称	豊岡クリーンセンター
供用開始年月	平成13年3月
排除方式	分流式
放流先	松木1号排水路
処理方式	(汚水) オキシデーシヨンディッチ法
	(汚泥) 濃縮→脱水→場外搬出
処理能力	3,300m ³ /日

7. 業務範囲

【管路施設】

業務種別	業務名	業務内容等
維持管理 業務	点検業務	定期点検、法定点検
	調査業務	SM計画策定のための調査
	清掃業務	
	産業廃棄物処理業務	産業廃棄物の処理
	緊急対応作業	管の閉塞、つまり、溢水、道路陥没時の緊急対応
	修繕	管路施設の修繕
計画・ 設計業務	SM計画策定業務	豊岡処理区相当部分のSM計画の基礎資料作成

7. 業務範囲

【処理場施設】

業務種別	業務名	業務内容等
維持管理業務	運転管理業務	運転操作、水質管理、保安管理
	調達管理業務	ユーティリティの調達管理
	産業廃棄物処理業務	産業廃棄物の処理
	点検業務	定期点検、法定点検
	維持修繕	設備の維持管理および修繕
計画・設計業務	SM計画策定業務	豊岡処理区相当部分のSM計画の基礎資料作成
	機械・電気設備更新実施設計	機械設備、電気設備の更新実施設計
改築・更新工事業務	改築工事業務	機械設備、電気設備の改築・更新工事

7. 業務範囲

【マンホールポンプ】

業務種別	業務名	業務内容等
維持管理業務	運転管理業務	運転監視
	産業廃棄物処理業務	産業廃棄物の処理
	点検業務	定期点検
	閉塞など対応作業	閉塞時の対応作業
	維持修繕 (部分更新含む)	設備の維持管理および部分更新を含めた修繕
計画・設計業務	SM計画策定業務	豊岡処理区相当部分のSM計画の基礎資料作成
	機械・電気設備更新 実施設計	機械設備、電気設備の更新実施設計
改築・更新工事業務	改築工事業務	機械設備、電気設備の改築・更新工事

7. 業務範囲

【共通】

業務種別	業務名	業務内容等
統括管理 業務	統括管理業務	業務全体を把握、進捗管理、発注者との調整
	セルフモニタリング 業務	要求水準の達成状況や業務履行状況の把握



8. 事業予定価格（10年間）

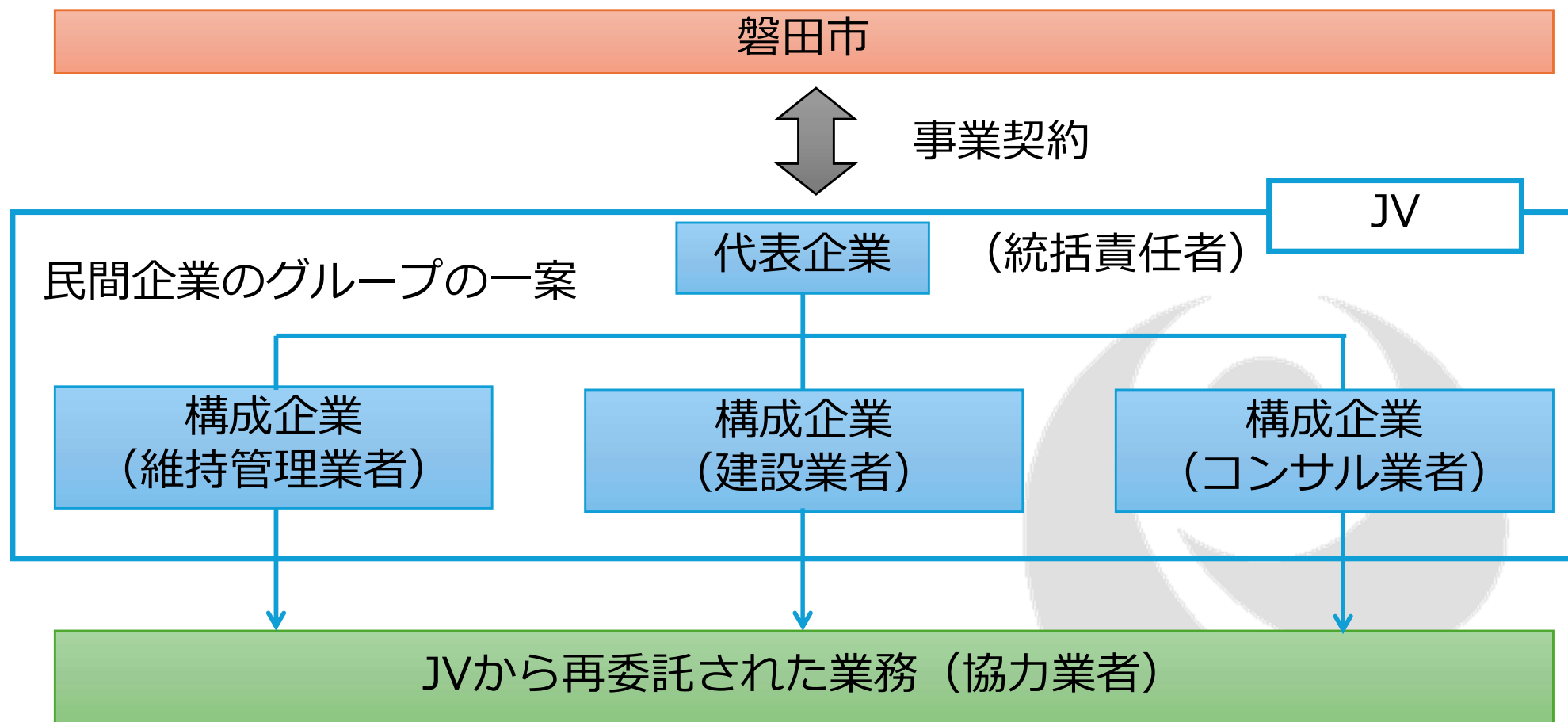
項目	金額 (億円・税込)	備考
管路施設	3.4	点検、修繕、SM基礎資料作成
処理施設・ マンホールポンプ	12.2	運転管理、点検、修繕
処理施設・ マンホールポンプ	20.4	更新工事
統括管理費	2.0	
合計	38.0	

※この事業費は、過年度の実績額を基に算定した現時点の見込み額です。
実際の事業予定価格は、導入決定後の募集要項の公告の際に示していく予定です。

※処理施設の更新工事の対象機器は、耐用年数を基としていますが、
全てを事業期間内に更新することは想定していないので、この表の
金額以内を目安に検討していく予定です。

9. 業務執行体制のイメージ（JVの場合）

- 各業務をまとめる統括責任者（各業務の責任者との兼務可）を代表企業から選任いただきます。



※統括管理業務については、再委託禁止とします。

10. 今後のスケジュールについて

予定時期	内容
令和10年3月	募集要項等の公表
令和10年4月～5月	資料閲覧、質問の受付、現地確認
令和10年6月	参加資格確認申請書の受付、審査結果の通知
令和10年7月	競争的対話、再質問及び追加質問の受付 提案審査書類の受付
令和10年8月	プレゼンテーション及びヒアリング、審査
令和10年9月	優先交渉権者選定、通知、基本協定締結
令和10年12月	事業契約締結
令和11年1月～3月	引継業務の実施
令和11年4月	事業開始

10. 今後のスケジュールについて

